

バイオビジネス環境学特論演習Ⅰ (2単位)

担当者氏名 稲泉 博己

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

人的資源開発に関わる文献の精読を通じ、受講者と共に修士研究全般に亘る基礎的な知識や問題整理の方法を学ぶ。特にⅠ(前学期)では、日本の教育史、普及教育などの文献に当たる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人的資源 日本教育史 農業教育 農業普及教育

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	はじめに(第1週)	導入	演習の進め方とテキストの紹介
2	日本教育史(第2～6週)	①ドーア「江戸時代の教育」の輪読	概ね2章ずつ進める
3	農学・農業教育・農業普及(第7～11週)	②戦後日本の食料・農業・農村第10巻「農学・農業教育・農業普及」の輪読	第Ⅰ部第1,10,11章、第Ⅱ部第1～5章、第Ⅲ部第1～5章を取り上げる
4	農業者大学校の現代的意義(第12～13週)	③年報村落社会研究42「地域における教育と農」の輪読	共通テーマ全5章を取り上げる
5	前学期のまとめ(第14～15週)	総合討論	前学期に学んだ中から一つを選び、さらに調査を深めて報告・討議する 各回、該当箇所を熟読して報告・討議できるようにしておくこと。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

江戸時代の教育/ドーア/岩波書店(1970)

戦後日本の食料・農業・農村第10巻、農学・農業教育・農業普及/同編集委員会/農林統計協会(2003)

年報村落社会研究42、地域における教育と農/日本村落研究学会(2006)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

日本農業教育史/高山昭夫/農文協(1981)

世界の農業教育/田島重雄/筑波書房(1985)

現代日本農村の社会問題/内山政照/筑波書房(1990)

青年農業者の形成と支援/藤田康樹/農文協(1997)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

概ね毎回提示される課題に対する報告を重視する。

◆オフィスアワー

毎週火曜日午後・研究室 (18号館7階)

◆その他受講上の注意事項

受講者の興味・関心によっては変更も有り得る。